

# れんこんへの作付転換に チャレンジしてみませんか？

れんこん田への  
転換方法&補助事業  
をご紹介します！！

鹿行農林事務所では、水稲から  
れんこん生産への転換を応援し  
ます！

## 水稲とれんこんの所得比較

水稲： 1.9万円/10a  
れんこん： 42.7万円/10a  
(県経営指標より抜粋)

## ～稲田かられんこん田への転換方法～ (事例を参考に)

### ◆ れんこん田に適した圃場の条件

- ・水が使える立地 (用水、井戸)
- ・水持ちがよい乾きにくい圃場
- ・小石、砂利の少ない圃場

★水田からの転換であるとリン酸分が不足する可能性があるため、必ず土壌診断を実施し、不足する養分を補給するようにしましょう！リン酸不足については、豚ふん堆肥 (2t/10a)が有効と考えられます。

### 【転換に係る経費の例】

- れんこん田の設置資材
  - ・畔波板 17万円/10a
  - ・防鳥網 25万円/10a
- 井戸の設置
  - ・井戸掘り代 65万円 (深さ50m)
  - ・給配水設備設置 10万円/10a
- 稲田が荒廃農地になっている場合は抜根も必要です
  - ・人件費 10万円 (アルバイト3人×3日)
- ほか、機械リースや作業委託の場合
  - ・ユンボリース代 1.5～2万円/日
  - ・トラクター作業委託 10万円/10a



転換後経年数	収穫量	A品率	作土深さ
作付け初年 (1年目)	3t/10a (手掘り)	37.5%	19.0cm
連作 (6年目)	1.5t/10a (機械掘り)	47.8%	28.4cm

# 補助事業をご紹介します

下記へお問い合わせください



## 【水田活用の直接支払交付金等】

### ○畑地化促進事業

- ・畑地化支援（14.0万円/10a）  
水田を畑地化して、高収益作物（野菜・果樹・花き等）の本作化に取り組む農業者を支援。
- ・定着促進支援（2.0（3.0（※））万円/10a×5年間）  
水田を畑地化して、高収益作物の定着等に取り組む農業者を5年間継続的に支援。（※）加工・業務用の場合

### ○産地交付金（県設定分）

- ・園芸作物等転換加算（25,000円以内/10a）  
経営体ごとにみて、園芸作物の拡大面積に応じて加算。

---

## 【基盤整備事業（用排水施設整備・畦畔整備等）】

### ○水田畑地化推進事業（県単）

- ① 事業主体：土地改良区、市町村等
- ② 受益面積：1ha以上20ha未満
- ③ 受益者数：2者以上
- ④ 補助率：県62.5%
- ⑤ その他：事業完了の翌年度から5年間は高収益作物を作付けすること



### ○農地耕作条件改善事業（国補）

- ① 事業主体：農地中間管理機構、土地改良区、市町村等
- ② 事業費：200万円以上
- ③ 受益者数：2者以上
- ④ 補助率：定額助成及び定率助成
- ⑤ その他：農地中間管理機構との連携（担い手への農地集積・集約化の推進）

#### <お問い合わせ先>

茨城県鹿行農林事務所

企画調整部門農業振興課（TEL 0291-33-4117）

土地改良部門（TEL 0291-33-4120）

経営・普及部門（TEL 0291-33-6193）

行方地域農業改良普及センター（TEL 0299-72-0256）

# 稲田かられんこん田への改田手順のポイント

鹿行農林事務所行方地域農業改良普及センター



## ① 栽培環境を把握します。

- 水が利用できるか確認します。用水は、9月以降使用できなくなるところが多いです。場合によっては、井戸の確保が必要となります。
- 水田に囲まれている農地は、水稻栽培の影響を受けるのでよく確認します。れんこんは水稻の除草剤には弱いので避けるためです。水田より上にあれば良いですが、大雨等で水田の水が溢れて、れんこん田に入るような立地条件でないことを確認します。
- 乾きにくい（水が抜けにくい、深い）水田がよいです。

## ② 土質等の確認をします。

- 砂目のところや、くるぶし程度の作土層が浅いところではできるだけ避けます。

→ 砂目の土壌は肥料持ちが悪いため、多肥栽培になりやすいです。



① 水の確保（井戸）



② 水稻収穫後の圃場  
→土質確認

- ## ③ れんこん田として活用できることを確認したら、さあ改田作業です！
- 水稻の収穫が終わったら、できるだけ早く改田に向け準備に取り掛かりましょう。

- ④ 漏水しないように、畦波（波板）を畦に沿って埋め込みます。
- 畦波（波板）は、120cm（幅）×60cm（高さ）のものを使用します。
  - 10aあたり120～150枚程度の畦波が必要となります。
  - 漏水対策として畔塗機を使うこともあります。

- ⑤ 堆肥（2～3t/10a）や石灰窒素等を散布し、まずはトラクターで耕耘します

リン酸不足は豚ふん堆肥（2t/10a）で補えると考えられます。

トラクターは25～50psのものを使用すると良いです。



④ 畔波設置



⑤ トラクターでの耕耘

- ⑥ 水田に水を張った状態で、土を柔らかくするとともに、作土を深くするために、月に1回程度耕耘します（10月～3月まで計6回程度）。
- できるだけ多く耕耘したほうが、れんこん田をより早く整備できます。

- ⑦ れんこんの収穫後に再度れんこん田を作製すると、深いところ浅いところできて作業性が悪くなり、その後の圃場整備にも影響をもたらします。
- そのため、できるだけ植え付ける前にきちんと土づくり等を行い、年内に整備しておくことが、品質向上と安定した収量確保のポイントとなります。